

## 第21回文化講演会

# 「地域社会と子育て」

～竹取物語から今、あなたの街まで～

はまお あけみ  
～浜尾 朱美さん～(キャスター・エッセイスト)



### プロフィール

徳島県出身。早稲田大学卒業。

就職試験で訪れた東京放送で、試験官だったドラマのプロデューサーに見出され、ポラテレビ小説「おゆう」で主演デビューをする。

その後、本来の関心領域である情報番組に活動の場を移し「おはようCNN」「サンデーモーニング」「アクロスザビュー」などのキャスター・ナビゲーターを経て、「筑紫哲也ニュース23」のサブキャスターを8年間務める。

現在は、小学生の息子との時間を生活の中心に据えながら、テレビ、雑誌、Webマガジンの連載、フォーラム・シンポジウムのコーディネーター、カルチャーセンターの日本語教師、地域活動等で多忙な毎日を送る。

ライフワークとして子育て支援問題に取り組み、子育てを通して得た教訓・エピソードを交えてわかりやすい講演をおこない、体験に基づいた親しみやすい講演は、各地で好評を得ている。

主な著書として「夢のあと」(三心堂出版社)、「もう結婚占いはいらさない」(講談社)、「私の競馬」(PHP研究所)などがある。

今年の文化講演会では、キャスター・エッセイストとして活躍している浜尾朱美さんをお招きします。

浜尾さんは、キャスターとして情報番組を中心に活躍されていますが、自身の子育ての経験から、子育て支援問題にも取り組まれています。

「社会全体で子どもを育ちを支え、子育て家庭を応援していこう、みんなで子育てする社会をめざそう。」を合言葉に活動している浜尾さんの優しい言葉は、あなたの心にきっとたいせつな何かを投げかけることでしょう。

第1部 「アトラクション」  
第2部 「講演会」

講師 浜尾朱美さん

演題 「地域社会と子育て」

竹取物語から今、あなたの街まで、  
手話通訳があります。

日時 7月7日(土) 午後1時20分～3時

30分(受付 午後0時45分から)

場所 コミュニティセンター 舞台ホール  
主催 白岡町・白岡町教育委員会・白岡町コミュニティ協議会

定員 260名(町内在住・在勤・在学のかた)(先着順・後日整理券を郵送します。)

申込み・問合せ 6月14日(木)から21日(木)までに次の方法で

電話と窓口

生涯学習課 社会教育係  
☎(92)1111 内線272、274

受付時間 午前9時～午後5時15分

窓口のみ  
コミュニティセンター(火曜日休館)

受付時間 午前9時～午後9時

中央公民館水曜日休館)

受付時間 午前9時～午後9時

### 人権それは愛

### 「結婚」

息子「俺、結婚することにしたよ。」

父親「そうか、相手はどんな子なんだい？」

息子「素直でやさしくていい子だよ。一緒にいると心が安らぐんだよ。」

父親「そうか。じゃあ、今度、連れておいで、父さんも会ってみたいから。」

母親「なに、お父さんはのんきな事を言っているの。親に相談もしないで、いきなり結婚するって言うても……。」

息子「え？俺もう30歳過ぎてるんだよ。」

母親「相手のことも家のことも分からないのに結婚なんて！」

息子「家のことも……。彼女は会社員。住んでいるのは隣町。お父さんも会社員。勤め先は知らない。お母さんは介護ヘルパー。二人姉妹の妹。みんな気さくで良いんだよ。」

母親「え、あちらのお父さんのお勤め先も知らないの？」

息子「……。ねえ、母さん！俺

の結婚と彼女の住んでいる所やご両親の勤め先と何か関係があるの？」

母親「だってね……。結婚すれば、家同士の付き合いもあるし変なお宅じゃ困るじゃないの。」

息子「変なお宅って何？そういう考え方がいいよ。」

結婚とは、人生をともし歩むパートナーを見つけ、支え合いながら生活をしていくことではないでしょうか。そして誰もが周囲の人から祝福されて新しい門出を迎えたいと思っています。

しかし、偏見や古い慣習にとらわれて「家柄ががう」、「世間はそんなに甘くない」、「苦労するのはあなただから」、など様々な理由で反対されることがあります。

でも人間の価値は生まれや家柄、外見、肩書き、職業などで決まるものではありません。

お互いに、かけがえのない存在であると認め合い、人権を尊重し誰もが幸せになりましたいすね。